

消防団総務大臣感謝状が贈呈されました

全国的に消防団員が減少している中、前年度と比較して団員の勧誘に取り組み、会員増加につなげている訓子府消防団（柴田浩幸団長）が、総務大臣からの感謝状を受けました。

この感謝状は令和元年当初の全ての消防団員、女性消防団員、学生の消防団員が前年度当初に比べ増加した消防団が対象となります。



今回は全国で43団体、北海道では本町を含め2団体が受賞しました。

特に本町は、全団員に占める女性団員の割合の伸び率が全国5位と非常に高く、さらに今年の4月から女性団員は「くるね分団」として独自に活動を展開していく予定で、今後の活躍がより一層期待されます。

3月19日に役場で、菊池町長が感謝状を伝達しました。

2店舗が訓子府町店舗出店等支援事業に認定されました

認定審査会議が開催され、下表の事業が認定されました。

事業名	申請者（事業主体）	事業内容
東町調剤薬局店舗購入事業 認定日：令和2年3月30日	三和薬品㈱	住所：訓子府町東町383番地10 店舗名：東町薬局 店舗面積：53.46㎡ 業種・業態：薬局
整骨院店舗購入事業 認定日：令和2年4月9日	㈱ Fruition	住所：訓子府町大町162番地2 店舗名：リサ整骨院 店舗面積：113.40㎡ 業種・業態：整骨院

■問合せ 元気なまちづくり推進室（☎ 33-5008 役場2階 窓口11番）

北見地域定住自立圏共生ビジョンを策定しました

「北見地域定住自立圏共生ビジョン」は、北見地域（北見市、美幌町、津別町、置戸町、訓子府町）の各市町が定住自立圏形成協定に基づき、北見地域のめざす将来像や推進する具体的な取り組みなどを内容として、北見市が中心となり策定するものです。

北見市による「北見地域定住自立圏共生ビジョン懇談会」およびパブリックコメントによる意見を踏まえ、北見地域定住自立圏共生ビジョンを令和2年3月に策定しました。

共生ビジョンについては「訓子府町役場2階 企画財政課窓口」または「訓子府町ホームページ」、「北見市ホームページ」で公表しています。

■問合せ 企画財政課企画係（☎ 47-2115 役場2階 窓口12番）

第2期訓子府町まち・ひと・しごと創生総合戦略・人口ビジョン

少子高齢化社会に対応し人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への一極集中を是正、地域で住み良い環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持するため、国のまち・ひと・しごと創生法に基づき、本町の実情に応じて必要となる施策についての基本的な計画を定めるものとして、令和2年から始まる第2期の地方創生のステージに向け、第2期訓子府町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。これと合わせて人口ビジョンについても、見直しを行いました。

■訓子府町人口ビジョン

人口の将来展望として、国（国立社会保障・人口問題研究所）が推計した2040年の本町の人口3,127人に対し、総合戦略を策定し、施策を実行することで420人多い、3,547人の人口をめざしていくことを決定しました。

人口の将来展望

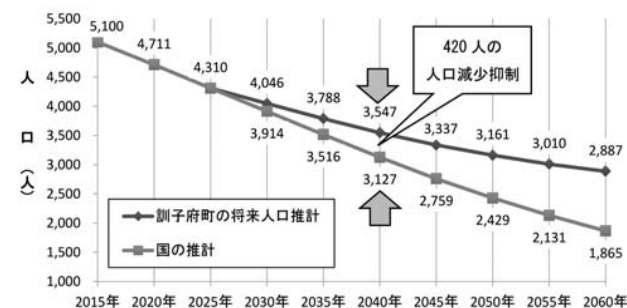
2040年 3,547人

人口の社会減の抑制

2019年	2024年	2040年
▲66人	▲20人	0人

期間合計特殊出生率の向上

2018年	2024年	2040年
1.73	1.82	2.07



■第2期総合戦略

○計画期間 2020年度（令和2年度）から2024年度（令和6年度）までの5年間

◆基本目標◆

- ①「力強い産業としごとを創る」
- ②「安心して子どもを産み、育てることができる環境を創る」
- ③「健康で安心して住み続けることができる環境と人の流れを創る」

将来にわたり魅力的で持続可能なまち

①「力強い産業としごとを創る」

持続的で多様な農業生産の確立、商工業の発展と経営基盤強化、起業・創業を促進する施策を推進しつつ、労働力の確保と雇用の促進を図ります。

指標	農業生産額	農家戸数	起業・創業件数
基準値	135億円	275戸	4件
2019年(度)			
目標値	140億円	256戸	10件
2024年(度)			(5年累計)

②「安心して子どもを産み、育てることができる環境を創る」

結婚、妊娠から産前産後をはじめ、子育てをする家庭を包括的・持続的に支援する環境整備と地域ぐるみでの子育て支援体制を推進します。

指標	期間合計特殊出生率	※合計特殊出生率とは、一人の女性が出産可能とされる15～49歳までに産する子どもの人数の平均
基準値	1.73	
2018年(度)		
目標値	1.82	
2024年(度)		

③「健康で安心して住み続けることができる環境と人の流れを創る」

移住・定住の促進、関係人口の創出・拡大に向けた取り組みを推進します。また、地域において健康で安心・安全に生活を送ることができる環境の整備を推進します。

指標	人口の社会減の抑制	健康寿命(平均寿命)
基準値	66人	男性:79.81年(82.12年) 女性:84.79年(87.98年)
2019年(度)		
目標値	20人	平均寿命に近づける
2024年(度)		

※社会減とは、転入転出による人口の増減